動物実験に関する現況調査票

北海道公立大学法人札幌医科大学

2026 年 10 月

Ⅰ．動物実験に関する組織

機関長	職名　学長・理事長	
事務担当者	職名　研究支援課係長 職名　准教授	
動物実験委員会	職 名	カテゴリー*
委員長	准教授	①
委 員	教授	①
委 員	教授	①
委 員	客員教授	③
委 員	准教授	①
委 員	准教授	①
委 員	講師	①
委 員	准教授	①
委 員	講師	①
委 員	外部有識者	②
委 員	准教授	②

委員の数に応じて、表の行を増やしてください。

動物実験委員会のカテゴリー欄*には文部科学省基本指針で定められた以下の委員構成の番号を記入して下さい。該当がない場合には空欄にしておいてください。

① 動物実験等に関して優れた識見を有する者

② 実験動物に関して優れた識見を有する者

③ その他の学識経験を有する者

Ⅱ．機関における動物実験の概要

１．動物実験を行う主たる研究分野

■ 医歯薬学分野　　□ 畜産・獣医学分野

□ 生物科学分野　　□ 理工学分野

□ その他（　　）

２．年度ごとに使用・飼養した実験動物の種類と概数

動物種	2021 年度		2022 年度		2023 年度		2024 年度		2025 年度	
	使用数	飼用数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数

ラット	4044	762	4358	729	1412	292	1804	480	1818	570
マウス	6522	3482	11317	3809	8305	4566	未集計	5736	未集計	6356
ウサギ	0	0	0	0	0	0	7	1	18	1
モルモット	11	0	7	1	7	1	8	1	8	1
ハムスター	0	0	0	0	0	4	93	0	80	0

（　2026 年　3 月　31 日　現在）

実施の規模を把握するための資料ですので、使用数、飼養数ともに概数で構いません。
飼養数は、特定の日（2026 年 3 月 31 日 現在）で記入。
集計困難であれば、未集計として下さい。
動物種の数に応じて、表の行を増やしてください。

３．年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験計画数	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
	101 件	108 件	108 件	119 件	116 件

４．年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
	292 人	321 人	267 人	288 人	298 人

５．実験動物飼養保管施設(施設)の現況

施設の総数：　　4　箇所	施設の総延べ床面積**： □300 ㎡未満　　■300 ㎡以上

** いずれかにチェックを入れてください。

施設の名称	管理者の職・氏名	実験動物管理者の職・氏名 （関連資格・経験年数）	動物種	最大飼養頭数 （概数）

動物実験施設部	施設部長・教授・	副部長（獣医師）	マウス （SPF） （一般区域） ラット （SPF） （一般区域） ウサギ モルモット	5,000 1,000 600 1,400 6 60
教育研究機器センター RI 部門	教授	教授（医師）	マウス ラット	合計 20
指定実験室（基礎医学研究棟 P3 実験室）	教授	技官（博士(医学)）	マウス ラット	合計 16
法医学講座	教授	講師（博士(薬学)）	マウス ラット	合計 100

数に応じて、表の行を増やしてください。

施設の所在地

所在地	施設の名称
北海道札幌市中央区南 1 条西 17 丁目	札幌医科大学医学部

数に応じて、表の行を増やしてください。
飼養保管施設のあるキャンパスの主な所在地を記入ください。

飼養保管施設は、管理者および実験動物管理者による一体化した管理体制の下で、実験動物の飼養及び保管等を行う施設であり、一般的には動物飼育室の他、器具洗浄等の管理区域、実験処置室等を含みます。したがって、個々の動物飼育室を指すのではありませんが、全ての動物飼育室は、実験動物飼養保管施設に所属していなければなりません。一体化した管理体制による実験動物飼養保管施設であれば、同一敷地内の異なる場所にある動物飼育室を含むこともあり得ます。なお、哺乳類、鳥類、爬虫類以外の動物の飼養保管施設はこの場合の数に含みません。

６．動物実験に関する情報公開

当該情報の公開場所（URL）： https://web.sapmed.ac.jp/jp/school/medicine/qr68fj00000012uh.html

７．国立大学法人動物実験施設協議会又は公私立大学実験動物施設協議会入会の有無

□ 国立大学法人動物実験施設協議会会員

■ 公私立大学実験動物施設協議会会員（会員番号：12-001　　）

□ その他(上記の会員ではない)

公私立大学実験動物施設協議会会員の場合は会員番号を記入ください。

８．自己点検・評価報告書の作成に際して自己点検・評価事項チェック票での確認

URL：http://www.m-kenshou.org/

■ 行った

９．特記事項

（動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情）

本学では昭和 63 年（1988 年）に札幌医科大学動物実験指針を定め、動物実験委員会による実験の審査・承認を行ってきた。文部科学省から告示された基本指針（平成 18 年：2006 年）を受けて、平成 20 年（2008 年）に札幌医科大学動物実験指針を定め、新たな体制を発足させた。自己点検評価については、平成 23 年度（平成 22 年度分）から開始した。平成 24 年に自己点検評価に関する外部検証（国立大学法人動物実験施設協議会および公私立大学実験動物施設協議会による検証委員会）を受検した。

本学には医学部および保健医療学部の 2 学部及び医療人育成センターが設置されているほかに、医学部附属研究所（がん研究所、再生医学研究所、免疫学研究所）および教育研究機器センターがあり、それぞれに研究部門が配置され動物実験が実施されている。

平成 26 年度に災害対策マニュアルに基づく訓練を実施した。

また、平成 27 年度に遺伝子組換え動物の逸走対策訓練を実施した。

平成 28 年度に微生物モニタリングにおける SPF 対象病原体検査の改訂を実施した。

平成 29 年度に再度微生物モニタリングにおける SPF 対象病原体検査の改訂を実施した。

平成 30 年度に北海道胆振東部地震（9 月 6 日）に遭い、大規模停電を伴う被災を経験したが、既存の災害対策・対応を実践し、大きな被害を受けることなく施設運営を継続できた。

令和 3 年 5 月、新設された動物実験施設へ移転した。

令和 5 年 4 月、本学機関内規程である札幌医科大学動物実験規程を改訂し、新規程のもとで動物実験の管理・運営を行っている。

令和 6 年度、2 度目の動物実験に関する外部検証（日本実験動物学会）を受検した。

令和 8 年度、動物実験施設使用細則を改訂（感染動物実験、生殖工学的支援に関する記載を追加）した。また、実験動物の飼育に用いる床敷を低粉塵性の紙製製品へ変更した。6 階 SPF 区域の動線を変更した。